

理工系女子支援事業【福島県郡山市】

個別事業費	163 千円
交付金額	81 千円

地域の実情と課題

本市が令和2年度に実施した郡山市労働基本調査によると、女性管理職の割合は17%と低い状況にあり、更なる女性の活躍促進に向けた支援が必要な状況にある。

また、理工や政治の分野のほか、農業をはじめあらゆる分野で女性活躍が求められてきており、女性が広く興味・関心をもつ機会の創出及び提供を効果的に行うこと、家庭や地域、職場における理解やサポート及び女性が活躍しやすい環境づくりを進めていくことが課題である。

事業の特徴

進路選択前の児童、生徒にもものづくり体験や実験、活躍する女性社員との交流を通して理系の楽しさについて体験する場や、多様な女性活躍の姿(ロールモデル)をきっかけとして、理工系分野に興味関心を持ってもらう機会を提供する。

令和7年度は市内に立地する大学と連携し、4つの理工系分野をテーマにした体験教室を実施したほか、同大学の卒業生で、市内の工業高校に勤務する女性教諭をロールモデルとして講師に招き、講話をいただいた。

事業の効果

理工系分野を進路選択し、現在は工業高校の女性教諭として勤務するロールモデルから、進路選択のきっかけや仕事のやりがい、理工系分野の魅力等に関する講話や、市内に立地する大学の女子学生等が主体となった、工学や科学などに関する体験教室をとおして、参加児童や保護者が理工系分野への進路選択や将来のイメージを持つことで、同分野に対する関心の高揚を図ることができた。

アンケート回答者の約90%から、今回参加したことにより、理工系への進路について「とても興味を持った」又は「少し興味を持った」との回答を得られた。※「元々興味があった」約7%は除く

目的・目標

女子生徒の理工系進路選択を促進するため、理工系分野の楽しさを実感し、理工系の仕事を目指すきっかけ作りをする。

【理工系女子体験教室参加者数】

目標：40組 実績：40組(申込60組から抽選で選定)

連携団体

日本大学工学部(市内立地大学)と連携して体験教室を開催したほか、同大学の卒業生をロールモデルとして講師に招き講話をいただいた。

今後の課題

多くの児童やその保護者が理工系分野への進路選択に興味を持てるような内容作りをするとともに、ロールモデルによる実際の体験談やきっかけ等をとおして、よりリアルに進路選択について考えるきっかけとなるような構成を目指していく。

また、アンケートをとおして得られた他に興味がある理工系分野に関して、更なる意識の醸成を図っていくために、今後の内容検討の際に取り入れていく。

事業の概要

女性の割合が低い理工系分野において、女子児童・生徒の興味や理解の促進を図るために、市内小中学校の女子児童生徒及び保護者を対象に、理工系分野へ興味をもつ機会を提供するための講演会や体験教室を開催した。

本年は、日本大学工学部(市内立地大学)と連携し、同大学の卒業生で、市内の工業高校に勤務する女性教諭をロールモデルとして、理工系分野への進路を目指したきっかけ等の講話や、同大学の女子学生等が主体となった、工学や科学など4つの理工系分野をテーマにした体験教室を開催した。

【令和7年度実績】

令和7年7月27日(日)(対面開催)

女性教諭(ロールモデル)による講話及び市内大学生等による体験教室

対象者:郡山市内に在住、在学の小学校5~6年生、中学生の女子と保護者

テーマ:「思い描こう!私の未来!進もう!理工系女子への道

~4つの体験教室をとおして、身近な『なぜ?』や『仕組み』に触れてみよう!」

参加人数:対象児童と保護者40組(※申込60組から抽選により選定)

ロールモデル講話
体験教室の様子

